

令和4年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立大森第七中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・1年間の授業での観点別の課題に取り組む活動を通して、活用力・応用力(とくに表現力)が向上している。(第2学年)
- ・1年間の授業での観点別の課題に取り組む活動を通して、活用力・応用力(とくに表現力)が向上している。(第3学年)

(2) 課題

- ・全学年を通して、基礎に関する問題において、目標値を上回っているが、さらに実力を伸ばし、大きく上回ることを目指す。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較) △目標値を上回る ≍目標値と同等 ▼目標値を下回る

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第1学年	全体 ≍ 基礎 ≍ 活用 ≍	/	/
第2学年	全体 △ 基礎 △ 活用 ≍	全体 △ 基礎 ≍ 活用 △	/
第3学年	全体 △ 基礎 △ 活用 △	全体 △ 基礎 ≍ 活用(思考判断) △ 活用(表現力) △	全体 ≍ 基礎 ≍ 活用(思考判断) ≍ 活用(表現力) ▼

(2) 分析(観点別)

第1学年	3観点のすべてにおいて、目標値を上回った。
第2学年	3観点のすべてにおいて、目標値を上回った。
第3学年	3観点のすべてにおいて、目標値を上回った。

分析(領域別)

第1学年	「我が国の国土の様子」「我が国の政治」において大きく目標値上回った。
第2学年	歴史的分野において大きく目標値上回った。
第3学年	地理的分野において、大きく目標値を大きく上回った。

3 授業改善のポイント

第1学年	授業内で観点別の課題を課し結果をその場で確認しながら達成感をもつことで、主体的に学習に取り組む態度を育む。授業の中では動画、写真などの視聴覚教材を活用することで、社会的事象への関心・意欲を高める。原因・結果の関係等を含めた時間の流れ(歴
------	--

史)と、世界の地域区分や気候などの自然環境を含めた空間的な広がり(地理)を互いに関連付け合うことで、社会的な見方・考え方を働かせるようにする。また、授業の中で文献、グラフ等の各種資料から必要な情報を適切に読み取るなど知識・技能を向上させる。そして理解したことを根拠として、自分の考えをまとめたり説明したりする活動を通して、表現する力のさらなる伸長につなげていく。

第2学年 単元の導入で「なぜ学ぶのか」という目的意識の醸成を促す発問を設定し、主体的に学習に取り組む態度を育む。授業の中では動画、写真、パワーポイントなどの視聴覚教材を活用することで、社会的事象への関心・意欲を高める。原因・結果の関係等を含めた時間の流れ(歴史)と、世界の地域区分や気候などの自然環境を含めた空間的な広がり(地理)を互いに関連付け合うことで、社会的な見方・考え方を働かせるようにする。そして学んだことを根拠として、自分の考えをまとめたり説明したりする活動を通して、表現する力のさらなる伸長につなげていく。

第3学年 単元や授業を貫く問いをそれぞれの導入時に設定することで目的意識を醸成し、主体的に学習に取り組む態度を育む。授業の中では動画、写真、パワーポイント、レプリカなどの視聴覚教材を活用することで、社会的事象への関心・意欲を高める。原因・結果の関係等を含めた時間の流れと同時代における他地域の並行した時間の流れ(歴史)を互いに関連付け合うことで、社会的な見方・考え方を働かせるようにする。そして学んだことを根拠として、自分の考えをまとめたり説明したりする活動を通して、表現する力のさらなる伸長につなげていく。